

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名: 小千谷市地域公共交通協議会

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
越後交通株式会社 南越後観光バス株式会社	長岡～十日町 長岡～小千谷① 長岡～小千谷② 長岡～小千谷③ 小千谷～十日町 小千谷～小国 小千谷～小出 (県単路線1路線) (循環線(フィーダー系統)1路線)	・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。しかし、小千谷～小出線については、ダイヤ改正を検討したが、実施はしなかった。 ・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B ・運行系統数 目標値: 9路線 実績値: 9路線 ・利用者数 目標値: 385,000人以上 実績値: 300,550人 ・収支 目標値: 平均46.2%以上 実績値: 39.7% ・財政負担額 目標値: 36,000千円以内 実績値: 53,038千円 運行系統数を維持することができたが、利用者数、収支、財政負担額については目標を達成することができなかった。	・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。 ・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。 ・各種割引の拡充や見直しを検討する。

越後交通株式会社	長岡～十日町	<p>・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。</p> <p>・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>・利用者数 目標値: 71,900人 実績値: 58,775人</p> <p>・収支 R5～R6: 37.9% R6～R7: 38.1%</p> <p>・財政負担額 R5～R6: 6,729千円 R6～R7: 5,894千円</p> <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<p>・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。</p> <p>・各種割引の拡充や見直しを検討する。</p>
越後交通株式会社	長岡～小千谷①	<p>・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。</p> <p>・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	B <p>・利用者数 目標値: 29,300人 実績値: 26,960人</p> <p>・収支 R5～R6: 47.5% R6～R7: 50.3%</p> <p>・財政負担額 R5～R6: 475千円 R6～R7: 276千円</p> <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<p>・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。</p> <p>・各種割引の拡充や見直しを検討する。</p>

越後交通株式会社	長岡～小千谷②	<p>・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。</p> <p>・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。</p>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>B</p> <p>・利用者数 目標値: 152,500人 実績値: 106,996人</p> <p>・収支 R5～R6: 44.3% R6～R7: 45.4%</p> <p>・財政負担額 R5～R6: 2,961千円 R6～R7: 2,509千円</p> <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<p>・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。</p> <p>・各種割引の拡充や見直しを検討する。</p>
越後交通株式会社	長岡～小千谷③	<p>・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。</p> <p>・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。</p>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>A</p> <p>・利用者数 目標値: 47,900人 実績値: 50,720人</p> <p>・収支 R5～R6: 43.9% R6～R7: 45.3%</p> <p>・財政負担額 R5～R6: 1,206千円 R6～R7: 1,026千円</p> <p>利用者数が目標値に達成し、収支率も上がり、財政負担額も減少した。</p>	<p>・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。</p> <p>・各種割引の拡充や見直しを検討する。</p>

越後交通株式会社	小千谷～十日町	<p>・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。</p> <p>・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。</p>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>B</p> <p>・利用者数 目標値:40,700人 実績値:37,668人</p> <p>・収支 R5～R6:28.3% R6～R7:30.4%</p> <p>・財政負担額 R5～R6:7,438千円 R6～R7:6,580千円</p> <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<p>・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。</p> <p>・各種割引の拡充や見直しを検討する。</p>
越後交通株式会社	小千谷～小国	<p>・運行回数の維持・競合路線との時刻調整を行い利便性の確保に努めた。</p> <p>・1日乗り放題券・小学生向け夏季休業期間割引の活用による利用促進を実施した。</p>	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	<p>B</p> <p>・利用者数 目標値:20,300人 実績値:19,431人</p> <p>・収支 R5～R6:38.5% R6～R7:39.4%</p> <p>・財政負担額 R5～R6:1,268千円 R6～R7:1,221千円</p> <p>利用者数は目標値を下回ったが、収支率が上がり、財政負担額は減少した。</p>	<p>・バス事業者、市町村等と連携し、運行計画の見直しを検討する。</p> <p>・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。</p> <p>・各種割引の拡充や見直しを検討する。</p>

南越後観光バス株式会社	小千谷～小出	・ダイヤ改正を検討したが、実施しなかった。	A	事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	C ・利用者数 目標値: 28,000人 実績値: 19,919人 ・収支 R5～R6: 31.9% R6～R7: 29.1% ・財政負担額 R5～R6: 1,883千円 R6～R7: 1,949千円 利用者数は目標値を下回り、収支率も下がり、財政負担額も増加した。	・バス利用者の動態を精査し、運行時刻の見直しや必要に応じて減便等を検討することで利用者数の維持及び収支の改善を目指す。
-------------	--------	-----------------------	---	---------------------------	---	---

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和8年1月15日

協議会名:	小千谷市地域公共交通協議会
評価対象事業名:	地域間幹線系統確保維持国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>小千谷市は、新潟県のほぼ中央に位置し、面積は155.19km²、人口は令和7年3月末現在32,357人となっており、平成27年3月末現在の37,471人と比較し5,114人減少、年齢別人口比率では15歳以下(平成27年3月末:12.9%、令和7年3月末:10.6%)が減少し、その一方で65歳以上(平成27年3月末:30.9%、令和7年3月末:36.8%)が増加する少子高齢化が進んでいる。</p> <p>本市の公共交通網は、JR上越線小千谷駅から本町を軸に、路線バス、乗合タクシー、コミュニティバスにより市域内広範に構成されている。近年は、人口減少とマイカー普及により公共交通利用者は減少を続け、路線バス事業の収支悪化は廃線や減便を招いている。その一方で、通院や通勤・通学など日常生活に必要な交通手段の確保は引き続き求められている。</p> <p>将来に渡り安定した公共交通を確保・維持するために、幹線系統を市街地から郊外を循環するフィーダー系統と組み合わせることで、以下の事業効果を期待できる公共交通ネットワークを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none">・市街地から郊外を循環するフィーダー系統からの乗継と通院や通勤・通学など日常生活に必要な交通手段の確保・区画整理事業により住宅建設が進む若葉地区を含む国道117号沿線の公共交通空白域の解消・中心市街地の本町と郊外大型店や公共施設を結ぶことによる地域活性化